

新宅 加奈子
Kanako Shintaku

1994年 大分県出身

2019年 京都造形芸術大学大学院 卒業

「生きている事を確認する行為」として2010年より全身に絵の具を纏い始め、身体と精神を拡張し自己からの脱却を図る。その行為をセルフポートレートとして展開。

 @_____.49

 @Shintaku_Kanako

website



國廣沙織
Saori Kunihiro

広島県出身

6歳より書始める。2011年より「書」を基盤として、国際交流活動を重ね、商業ロゴ制作、海外映画内の文字提供、ひらがなをモチーフにしたアクセサリーの制作、京都市パリ市の合同アートプロジェクトに参加など活動は多岐にわたる。「書」の中でも主に優美な仮名を題材とした作品を制作している。

 @hiragana_tokyo

website





佐藤元紀
Genki Sato

1986年 香川県出身

2009年 大阪芸術大学芸術学部工芸学科金属工芸コース 卒業

視覚表現のアーティストとして活動。作品を通じて感覚の共有を試みている。現在は絵画や写真、映像などのメディアを使用しながらも表現方法は問わず作品を制作している。

website



interview



中村綾花
Ayaka Nakamura

1988年 東京都出身

2013年 武蔵野美術大学油絵学科版画専攻 卒業

「手描きをメインに、繊細かつ力強い画面づくりを目指し、絵・木版画・映像などを手がける。

映像作家100人2015(BNN出版)に掲載。2016年の六本木アートナイトで行った横7m・高さ3mのパネルのライブペイントが好評を受け、イベントなどでライブペイントを行うようになる。

website





キース スペンサー
Keith Spencer

1982年 アメリカ・ニューメキシコ州出身
2017年 エミリーカー美術大学修士課程 修了

 @keithspencer505

主に出身地であるアメリカ・ニューメキシコ州の風景画を、油彩やモノタイプで表現。「以前、その場所にいた時」の風景を再現して、自分の想像と、現実との差を描写している。

website



interview



木村 華子
Hanako Kimura

京都府出身
同志社大学文学部美学芸術学科 卒業

商業フォトグラファーとして広告や雑誌などで撮影する傍、2011年頃から自身のライフワークとして作品制作を開始。主に「存在する／存在していない」などの両極端と捉えられている事象の間に横たわる広大なグレーゾーンに触れることをステイトメントの中心に据え、コンセプチュアルな作品を展開する。

 @hanako_kimura

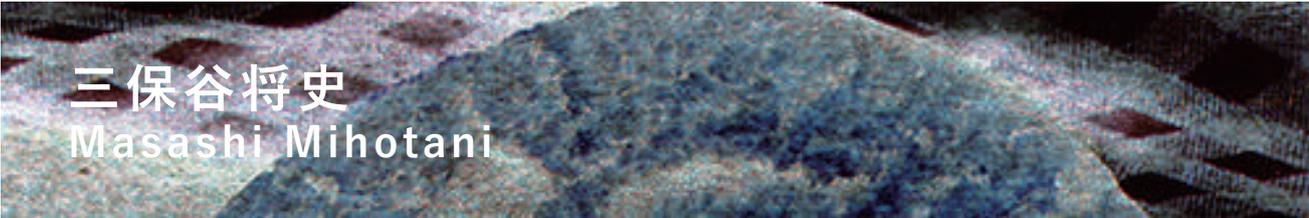
 @hanako8985

website



interview





三保谷将史
Masashi Mihotani

1987年 大阪出身

2015年 大阪ビジュアルアート写真学科夜間部 卒業

認識や見えるということを中心に、近年は身近にありふれるものをネガとしたカラーフォトグラムによる作品を主に制作。直近の活動では、大理国際写真祭（中国）への日本人招待作家選出や、雑誌 IMA とファッションブランド Edition とのコラボ企画にも参加。

 @3hotani

website



interview



進士三紗
Misa Shinshi

1998年 京都府出身

2021年 京都市立芸術大学美術学部油画専攻 卒業

写真でのクライアントワークを実践する傍、油絵と写真の両方のジャンルで表現活動を行う。

特に油絵作品では川の上流より流れる中で丸みを帯びていく石の性質に、対人社会における自己形成を投影し、川を流れる石の姿をモチーフに制作している。

 @samishinshi

 @shinshi_chan

website





小松菜々子
Nanako Komatsu

1993年 横浜出身
ダンサー・振付家

日本女子大学住居学科中退後、9カ国23都市をバックパックした際に英語が喋れずジェスチャーでコミュニケーションを図り、意思が共有された喜びの経験から日本で身体パフォーマンスを作り始める。

 @na7041003to

website



高橋慎太郎
Shintaro Takahasi

1994 愛媛県出身
現代美術家

人を愛すること、人を憎み、殺すこと、生きている喜びや、生きている悲しみ、幸せを分け与えることや、不安に怯え、苛立ちを暴力にして振るう。

そんな人間も、みんな私だ。

 @takahashi_shintaro

 @shintar0ratnih

website





オギハラフウカ
Fuka Ogihara

1997年 東京都出身

2021年 京都市立芸術大学修士課程日本画専攻 卒業

京都、東京を中心にアーティスト活動を行なう。

東洋的美意識、その境界の融合と探究をテーマに制作を行う。

日本画に用いられる素材の物質性と表現の可能性を求め日々筆を握っている。

 @ghtgi

 @ghtgi0212

間瀬春日
Haruhi Mase



1998年 神奈川県出身

2021年 金沢美術工芸大学美術工芸学部工芸科漆木工コース 卒業

水中や水を飲むことで、自分自身の内や外の輪郭をはっきりと感ずることができる。水を介して自分の形を感ずることは、自身の存在の確かさを感ずることへと繋がる。この身体感ずを乾漆技法のプロセスに落とし込み、水棲生物の制作を行う。

 @kissako_urushi

website

